

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：ハミングきっず	種別：地域型保育事業
代表者氏名：大塚 由美子	定員（利用人数）：18名 （利用人数：18名）
所在地：〒242-0015 大和市下和田763-4	
TEL：046-269-7423	ホームページ： http://www.for-one.co.jp/index.html
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2015年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 フォー・ワン	
職員数	常勤職員：6名 非常勤職員：14名
専門職員	園長：1名 保育士：10名
	管理栄養士：1名 調理員：5名
	子育て支援員：1名 事務：2名
施設・設備の概要	保育室：2 トイレ：2
	調理室：1 事務室：1
	園庭：なし

③理念・基本方針

<p>保育理念 家庭的な雰囲気の中子ども一人ひとりを大切にし保護者が安心して預けられる保育園であることを目指す</p> <p>保育方針 豊かな心と丈夫な身体を育てる 「異年齢児混合保育」「世代間交流」「地域交流」「園外散歩」を行う</p> <p>保育目標 よく遊び よく食べ よく寝る子 生まれて初めての集団生活で家庭以外の環境で過ごす長い時間を安心できる場所でなければならないことを第一に考え、遊びの中での様々な経験によって感じる力、考える力が育ち、温かく美味しい食事と十分な休息によって健やかに育つ生活リズムが身に付くことを目標に掲げ日々の保育を実践しています。 子どもの人間形成の大事な時期に心と身体に十分な栄養を与えられる保育士であること、保育園であることの実現のため日々保育内容の充実を図っています。</p>

④施設・事業所の特徴的な取組

<p>園から少し歩くと東西に二つの川があり四季折々の自然を感じることができます。境川近くの広場は広々とした解放感があり一年を通して草花や木の実、虫に触れることができます。天気の良い日は公園、神社、電車や新幹線、消防車を見に行ったりと子どもたちの興味や目的を持って出かけています。自由に散策できる田畑では、おたまじゃくし、ザリガニ、どじょうなどを見たり触ったりを経験しながら沢山歩けるよう</p>

になっていきます。四季の移り変わりを感じながら子どもたちと感動を共有し、見る・聞く・感触を味わう情緒豊かな経験を散歩を通して日々行っています。小さいながらも園庭では、ビオトープをつくり、メダカやカニ、エビなど子どもたちや保護者がいつでも見たり触れたりすることができるようになって喜ばれています。小さな畑もありプランターと合わせて野菜を栽培し、みんなで水やりや収穫を楽しんでいます。

開園から作られている人気の献立を中心に新しい物を加え毎日違う献立を自園で作成し、子どもたちに喜ばれる給食を温かい状態で提供しています。調理室は保育室から見えるところにあり調理の様子がわかります。食事を楽しみにすることは食育の基本と考えています。

ホームページでは微笑ましい園生活の様子や地域の親子が参加できる行事へのお誘い、育児相談など地域に親しまれるよう開かれた活動を行っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年11月17日（契約日）～ 令和6年2月28日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2018年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)積極的な戸外活動が地域との交流や社会参加につながっています

近隣の環境を生かし、天気の良い日は積極的に戸外へ出かけ、自然が残る場所へ散歩に行き、季節を感じたり、生き物を見つけるなど、探索活動を行っています。園の外には小さなビオトープを作り、子どもたちは生命の不思議や生命の大切さにも触れています。子どもたちが元気に歩いたり、活動したりする活発な姿は地域の人たちの目にも留まっており、温かく受入れてもらっています。厚意で畑を貸してもらい、サツマイモを育て、収穫体験をさせてもらいました。サッカーグラウンドで遊ばせてもらうこともあります。戸外に出ることで地域の人と接し、社会体験できる機会を得ています。

2)子どもたちは地域と触れ合い交流しています

園は2歳児クラスまでの低年齢の子どもが在籍している小規模園ですが、消防車の乗車体験、コミュニティセンターでの地域のボランティア楽団の演奏会（園主催）、スタンプラリー中継点の協力、園前のスペースで実施したゆず足湯に地域の人に参加しています。コロナ禍の影響もありますが、提携園との交流や地域に向けた保育交流を続けています。それらを通し地域の人たちとの積極的なふれあいの機会を持っています。

3)子ども中心を心がけた保育を行っています

常に子ども一人ひとりを大切に、子どもを中心にした保育ができるよう、人員配置を厚くし、さらに必要に応じて園長他フリーの職員が応援に入るようにしています。園長は職員とのコミュニケーションを心がけながら思いを伝え、職員一人ひとりの様子の把握と全体のバランスやチームワークの構築に努めています。職員の離職も少なく、保護者の評価も高く、子ども中心を心がけた小規模園の良さが生かされています。

4)さらなる保育の改善や専門性の向上が期待されます

今年度は、園での勤務が長い職員が多いこと、新入職員を迎えたこと、地域育児センター園の大和市福田保育園の定期的な巡回指導でのアドバイスや指摘を受けたことな

どを踏まえ、今後の保育実践に生かしていくために「保育の質を高めるためのアンケート」を取り、集計結果について話し合いの機会を持っています。その集計結果や話し合いからの個々の気づきや自己啓発につなげ、保育の改善や専門性の向上につなげていこうとしています。今後のさらなる実践が望まれます。

5) プライバシーの保護に取り組むことが期待されます

保育場面や保護者対応のなかで、子どもや保護者のプライバシーに配慮した実際の具体的な取組を行っています。しかし具体的な対応方法を取りまとめたプライバシー配慮に関する規程やマニュアルが未整備です。規程やマニュアル等を整備し、それにもとづいた取組が期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

2回目の第三者評価の受審となります。今回、受審にあたりグループごとで保育の振り返りを行い、そのうえで全体での話し合いを行い、改めて本園を見直す機会となりました。本評価を通していただいたご意見やアドバイス、課題となる事項も確認をすることができ、今後の保育の質向上への足掛かりとしていきたいと思えます。

なお、今回いただいた高い評価事項は、職員の励みとなり、また、保護者アンケートでの高い満足度など保護者の皆様や地域の皆様に支えられていることに改めて感謝いたします。

これからも、本園の特性を生かし、子どもたちが元気に安全に過ごせる、保護者の皆様が安心して預けることができる保育園を目指していきます。0歳から2歳は、成長の基盤となる大切な時期であり、子どもたちの心のどこかにハミングで過ごした温かな日々が刻まれていけばよいと考えています。今回の評価は、保育目標である「よく遊び よく食べ よく寝る子」に活かし、事業継続に資するよう努めてまいります。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり